

逸ノ城関が 奥ノ木市長に 優勝を報告しました

7月10日～24日に名古屋で行われた大相撲7月場所で
湊部屋所属の逸ノ城関が見事幕内初優勝を収めました。



正面左から大竹後援会会長、湊親方、奥ノ木市長、逸ノ城関、
富田後援会役員、池水後援会副会長



すばらしい成績をたたえる 奥ノ木市長

奥ノ木市長 横綱を倒しての12勝3敗という堂々の結果での優勝、本当におめでとうございます。優勝から4週間たちましたが、今のお気持ちはいかがですか。ご両親には報告されましたか。

逸ノ城関 ありがとうございます。最高優勝までうれしいです。取り組みの様子は、モンゴルでもテレビ放映されているので両親も大変喜んでいました。

奥ノ木市長 横綱と2大関に勝って6連勝をしたかと思えますが、どのように気持ち切り替えたのですか。

逸ノ城関 2連敗したときは、自分の相撲ではなく、相手の相撲のことばかり考えてしまっていました。相手のことは考えずに、自分の相撲を取ることに集中しようと気持ちを切り替えました。



今後も上を目指すと 逸ノ城関

奥ノ木市長 横綱との一番印象に残っている取り組みは、逸ノ城関。横綱との一番です。今までなかなか勝てませんでした。今回自分のかたちで勝てたことが自信になりました。

奥ノ木市長 湊部屋から悲願の優勝力士が誕生しました。親方はどのようなお気持ちでしたか。

湊親方 先代の湊親方から部屋を受け継いで、優勝力士を育てるということを思い描かなかったわけではありませんが、実際に今回最高優勝を果たし、はじめは実感が湧かないというか、夢のような感じがしました。

奥ノ木市長 親方からご覧になって、7月場所の逸ノ城関は、これまでの場所と何が違いましたか。

湊親方 一番の違いは、重心が低く、立ち合いの一步が早く出ていたことです。速く一步が出ると、上手が早く取れます。上手が取れると前に出ることができ、前によく出ていたというのが良かったと思います。

奥ノ木市長 なるほど。そこが勝因だったわけですね。どのあたりで優勝を意識しましたか。

湊親方 横綱に勝ったときに「今回は違うな」と感じました。そのあと2連敗したので心配しましたが、(笑)

奥ノ木市長 今後、逸ノ城関に望むことは、湊親方。今回の7月場所の相撲を忘れないで、もっともっと立ち合いを低く、速くすることです。よい立ち合いができればさらに上を目指せると考えています。



弟子の成長に目を細める 湊親方

奥ノ木市長 後援会の皆さんは、今回の栄える優勝をどのように受け止めていますか。

大竹後援会会長 うれしい限りです。逸ノ城関を応援するようになって8年になります。新入幕のころ、あまりの勢いに優勝するのではと思った時もありましたし、その後も機会はあったものの優勝は逃していました。でもいつかは必ず優勝すると信じて応援してきました。

奥ノ木市長 湊部屋として相撲を支える立場として、市民の皆さんに対して伝えたいことはありますか。

大竹後援会会長 逸ノ城関の活躍もあり、後援会のメンバーも増えてきています。湊部屋という相撲部屋が川口市にあることを知らない人もたくさんいるので、ぜひ市長が先頭に立って宣伝していただきたいです。私たちも、後援会の会員を増やして、これからも精いっぱい湊部屋の力士たちが少しでも相撲が取りやすい環境づくりに努めていきたいと思います。

奥ノ木市長 そうですね。60万市民の皆さんに、湊部屋を知っていただいて、地元の方、湊部屋を応援してほしいですね。私も引き続きしっかりと応援していきます。逸ノ城関、湊親方、そして後援会の皆さん、この度は本当におめでとうございました。そして、逸ノ城関には、三役の定着だけにとどまらず、大関への昇進、さらに横綱を目指し、これからも頑張ってください。

逸ノ城関 皆さんの期待に応えられるよう、しっかりと頑張りますので、これからも応援をよろしく願います。



きゅぼらんとの初顔合わせ